

平成 28 年度後期 CALL-A/B 再履修 受講説明書

平成 28 年 9 月 30 日

目次

1	かならずお読みください	2
1.1	受講希望者全員が必要な手続き	2
1.2	学習内容と成績の内訳の確認	2
2	はじめて WebOCMnext での学習をする方	2
3	学習スケジュールおよび学習範囲	3
3.1	CALL-A	4
3.2	CALL-B	4
4	WebOCMNext	4
4.1	パソコンの使用環境	4
4.2	使用教材	4
5	履修登録方法	4
6	ウェブ教材の進め方	5
6.1	学習システムへの登録	5
6.2	学習方法	5
7	すでに WebOCMnext で学習したことがある方	7
8	事務連絡等	7
8.1	更新情報等	7
8.2	トラブルなどの報告	8

1 かならずお読みください

学内の CALL 科目は、平成 27 年度をもって「ぎゅっと e」から「WebOCMNext」へと移行し、九州大学で独自に作成した問題を学習する形式となりました。作成された問題は、他の英語科目や「九大英単」の内容、および学生の英語力を踏まえて作成したものです。

再履修の受講を希望する方は、1.1 節「受講希望者全員が必要な手続き」1.2 節「学習内容と成績の内訳の確認」をかならず確認してください。

1.1 受講希望者全員が必要な手続き

学術英語 1・CALL-A/B を受講するすべての学生は、以下の 2 つの手続きをかならずおこなわなければなりません。

- 学習システム登録用のフォームへの登録
- ウェブ履修登録での履修登録

この 2 つの手続きがおこなわれない場合、「学習をしたのに成績が登録されない」「履修をしたのに教材にアクセスできない」などの問題が発生する場合があります。くれぐれもお気をつけください。

1.2 学習内容と成績の内訳の確認

ぎゅっと e と WebOCMnext は、解答する問題の形式や内容が大きく異なるので、CALL-A/B を最初に受講した年度（初回受講年度）によって、再履修の際に求められる学習内容や成績の内訳が変わります。下の表をご確認のうえ、自分が該当する箇所をしっかりと読んでください。

表 1 CALL-A/B の受講年度と再履修パターン確認表 (平成 28 年度後期)

CALL-A/B の初回受講年度	再履修 (1 回目)	再履修 (2 回目以降)
平成 25 年度	説明書 2 節へ	説明書 7 節へ
平成 26 年度	説明書 2 節へ	説明書 7 節へ
平成 27 年度	説明書 7 節へ	説明書 7 節へ

休学等により、まだ CALL-A/B を受講したことがない方

入学直後の休学等により、まだ CALL-A/B を受講したことがない方は、本科目のテキスト「アクティブラーニングを協力をサポートする WebOCMnext ユーザーズマニュアルー九州大学基幹教育言語文化科目「学術英語 I CALL-A/B」受講案内書」に学習内容や成績の内訳等の情報が記載されています。生協にてテキストを購入のうえ、内容をご確認ください。

2 はじめて WebOCMnext での学習をする方

再履修で初めて WebOCMnext を使用する受講生の方は、学習システム WebOCMNext と「九大英単」の内容の 2 種類について学習をおこなってもらいます。WebOCMNext には、「九大英単」の内容はありませんが、「定期試験には、学習システム内の教材の内容と、『九大英単』の内容の 2 つが出題されることになります。」

以下が、CALL-A/B の学習内容と成績内訳となります。

「長期休暇学習相当分」とは、受講生の学期終了後の習慣的な学習を見込んで、全員に付与される点数です。

表 2 学習範囲および成績内訳

科目	学習範囲	成績内訳
CALL-A	ウェブ学習	期末試験...50%
	Reading 1~3、Listening 1~3、Grammar 1~3	学習履歴...40%
	『九大英単』 第 1 部「動詞」、第 2 部 1~4、第 3 部 1~2	長期休暇学習相当分...10%
CALL-B	ウェブ学習	期末試験...50%
	Reading 5~7、Listening 5~7、Grammar 5~7	学習履歴...40%
	『九大英単』 第 1 部「形容詞」「名詞」、第 2 部 5~10、第 3 部 3~7	長期休暇学習相当分...10%

2.0.1 学習履歴の評価

学習システム上では、受講生のアクセスと問題解答の状況が逐一記録されるようになっていきます。この記録にもとづいて、学習履歴の評価をおこないます。

学習履歴による評価は、以下の条件下で最大化されるように調整されます。

評価最大化の条件

- 週ごとの学習日数および学習時間にかたよりが無い（習慣的な学習）
- 指定された学習範囲を、学習締切日までに終えている（計画的な学習）
- 各問題の正答率が一定の高さを保っている（十分な語学的知識）
- 一定量の復習をおこなっている（反復学習）

なお、以下のような状況の場合には、十分な評価が得られなかったり、「不正常学習」として減点される場合があります。

低い評価・減点の例

- 他受講生およびこれまでの本人の学習状況と比較して、不自然な履歴が記録される（不正常学習）
- 問題への解答が、締切日直前に異様に多い（駆け込み学習）

また、学習締切日までに学習範囲が終了しなかった場合は、大幅な減点がおこなわれます。ネットワークの遅延等による解答の未完了も、救済措置の対象とはなりませんので、問題への解答は、十分に余裕をもっておこなってください。

2.0.2 不正行為について

以下の行為は、科目運営に大きな損害をもたらすものとして、厳しく処断します。

不正行為の例

- 問題や解答のテキスト・画像を、紙をはじめとしたメディアに記録し、配布すること
- 他人からメディアを通じて問題や解答を入手すること

3 学習スケジュールおよび学習範囲

学習スケジュールは、以下の表のとおりとなります。

3.1 CALL-A

日にち	学習範囲
10 月 10 日 (月)	学習開始
11 月 14 日 (月)	Reading 1, Listening 1, Grammar 1
12 月 26 日 (月)	Reading 2, Listening 2, Grammar 2
2 月 6 日 (月)	Reading 3, Listening 3, Grammar 3
2 月 7 日～13 日	期末試験

3.2 CALL-B

日にち	学習範囲
10 月 10 日 (月)	学習開始
11 月 14 日 (月)	Reading 5, Listening 5, Grammar 5
12 月 26 日 (月)	Reading 6, Listening 6, Grammar 6
2 月 6 日 (月)	Reading 7, Listening 7, Grammar 7
2 月 7 日～13 日	期末試験

4 WebOCMNext

4.1 パソコンの使用環境

WebOCMNext が保証するパソコンの使用環境は、以下のとおりです。

表 5 保証されている動作環境

	Microsoft Windows 7/8/8.1	Microsoft Windows 10	Mac OS X 10.8～10.10
使用可能な ブラウザ	Internet Explorer 9.0 Internet Explorer 10.0 Internet Explorer 11.0 Google Chrome	Google Chrome ^{*1}	Google Chrome

4.2 使用教材

先ほども述べたように、WebOCMNext に掲載されている教材は、前年度の「ぎゅっと e」とは異なります。

教材は、読解、聴解、文法の 3 種類があり、それぞれの教材は、各学習期間にあわせて 3～4 のセクションに分かれています。履修をする皆さんには、各学習期間に定められたセクションの学習に取り組んでもらいます。

5 履修登録方法

ウェブ履修登録画面にログイン後、「集中講義」の項目へ入り、「**学術英語 CALL-A**」(または、「**学術英語 CALL-B**」)を選択してください。

^{*1} Microsoft Edge などのブラウザは、問題ページが空白で表示されるなどの不具合が報告されています。アクセスと学習の際には使用しないでください。

6 ウェブ教材の進め方

6.1 学習システムへの登録

1. ポータルページ ([ここをクリック](#)) にアクセスし、今年度の CALL-A/B (再履修) ポータルページへ移動する
2. ポータルページの「お知らせ」をチェックする
3. 「教材へ」のリンクをクリックし、学習システムにアクセスする
4. 通知された ID とパスワードを入力して「ログイン」ボタンを押す
5. 画面右上「ユーザー情報の変更」で、以下の 3 点を確認する
 - 姓名
 - ユーザー名
6. パスワードを変更する
7. 画面左のフレーム「クラス登録」で、正しいクラスが選択されていることを確認する。
8. 画面左のフレーム「クラス選択」で「後期 A 再履修」(または「後期 B 再履修」) クラスをクリックする
9. ログアウトをおこなう際には、かならず画面右上の「ログアウト」をクリックする。

6.2 学習方法

ここでは、操作について簡単に説明します。操作に問題が生じた場合には、CALL 担当教員 (call-instructor@fkc.kyushu-u.ac.jp) までご連絡ください。

6.2.1 問題への解答方法

1. 右のフレームで正しいクラスを選択し、左のフレームに表示される「教材一覧」をクリックする (図 1)
2. 表示されるリスト上部「教材名」をクリックすると、教材が昇り順に並べ替えられる (図 2)
3. 学習したい教材名をクリックすると、左のフレームに問題が表示されるので、各問題をクリックして、学習をおこなう。
 - 学習が終了した問題には、緑四角の印がつく
 - アクセスしたが、解答していない問題には、赤四角の印がつく
4. 問題に解答したら、かならず設問下の「check」ボタンをクリックし、解答を確認する

The screenshot shows the 'ユーザーホーム' (User Home) page. On the left is a sidebar with various links, including '教材一覧' (Material List) which is circled in red with a 'click!!' callout. The main content area shows a table of classes with columns: CIDX, CID, 年 (Year), 学期 (Semester), 曜日 (Day), 時限 (Period), クラス名 (Class Name), and コメ (Comments). The table lists classes 52 through 57. The rows for '後期再履修A' (CID 56) and '後期再履修B' (CID 57) are highlighted with a red box, and a callout bubble asks 'どちらかを選択' (Choose one). The top right of the table area says 'クラス選択: 右' (Class Selection: Right).

CIDX	CID	年	学期	曜日	時限	クラス名	コメ
52	52	2015	1	4	4	後期芸工画S1-30/31	
53	53	2015	1	4	5	後期芸音芸S1-32/33	
54	54	2015	1	4	6	後期農S1-34/35	
55	55	2015	1	5	1	後期農S1-36/37	
56	56	2015	1	5	2	後期再履修A	
57	57	2015	1	5	3	後期再履修B	

図 1 教材一覧 (赤印箇所) から各教材に移動できます

教材一覧

ページサイズ: 10 | ページ指定: | 移動 | 更新

ご希望の教材名をクリックしてください。

最初 前へ 次へ 1 2 最後 1 / 2 ページ (12 records)

ID	+/-	教材名	Ver.	Act	Group	St	ジャンル	Date	SKey	XfID	X
20022	+	Grammar1	0	✓			ホームページ>Grammar	09/03 23:30	0	23101	2
20310	+	Grammar4	0	✓		1	ホームページ>Grammar	09/03 23:31	0	23034	2
20119	+	Grammar2	0	✓		1	ホームページ>Grammar	09/03 23:30	0	22981	2
20210	+	Grammar3	0	✓		1	ホームページ>Grammar	09/03 23:31	0	22951	2
19981	+	Listening3	0	✓		1	ホームページ>Listening	09/03 23:27	0	22683	2
19998	+	Listening4	0	✓		1	ホームページ>Listening	09/03 23:28	0	22663	2
19965	+	Listening2	0	✓		1	ホームページ>Listening	09/03 23:27	0	22656	2
19948	+	Listening1	0	✓		1	ホームページ>Listening	09/03 23:27	0	22650	2
19923	+	Reading2	0	✓		1	ホームページ>Reading	09/03 23:24	0	22595	2
19915	+	Reading1	0	✓		1	ホームページ>Reading	09/03 23:23	0	22583	2

図 2 教材リスト

5. 解答を確認したら、画面下の「次の課題に進む」または「学習を終了する」をクリックする
6. 学習を終了する場合は、画面下の「学習を終了する」ボタンをクリックする

6.2.2 自分の学習状況を確認する

自分の学習状況を確認したい場合は、以下の操作をおこなってください。

- 左のフレームの「教材集計」をクリックする (図 3)

教材集計 TOP | 教材アクセス状況 | 学習進捗状況 | 練習問題受験状況 | 学習終了状況

Reading | Listening | Grammar | Others

Sort	XfID	Group	[+/-]	教材名	Reading速度 (WPM)	所要時間 (秒)	理解度 (1~5)	学習時間 / 分 (ページ滞在時間)	初回得点	学習終了者
0	22595			Reading2	--	--	●●●●●	--	--	0 / 0
0	22583			Reading1	--	--	●●●●●	--	--	0 / 0
0	22582			Reading4	--	--	●●●●●	--	--	0 / 0
0	22580			Reading3	--	--	●●●●●	--	--	0 / 0

1 to 50 | 最初 | 前へ | 1 | 次へ | 最後 | 4 Hits

図 3 教材集計ページ TOP

- 教材アクセス状況: 教材へのアクセス履歴
- 学習進捗状況: アクセスした問題とその終了状況
- 練習問題受験状況: 問題の解答状況と正答率など
- 左のフレームの「総合成績」をクリックする
 - 総自習時間: 問題に解答した時間
 - 成績判定・出席数については、下の【注意事項】を参照のこと

6.2.3 ! 注意事項!

学習履歴を確実に残すために

学習システムは、決められたボタンをクリックしなければ解答が完了したと判定されません。問題に解答するときにはかならず「check」をクリックし、その後は「次の課題へ進む」「学習を終了する」のいずれかをクリックしてください。

「学習時間/分」の項目について

教材集計 TOP の「学習時間/分」の項目は、「アクセスした時間の平均」であって、「アクセスした時間の合計時間」ではありません。総自習時間を確認したい場合は、左のフレームの「総合成績」をクリックしてください。

「成績判定」「出席数」について

総合成績メニューの「成績判定」は総自習時間に、「出席数」は登録されたクラスの日におよび期間に連動して、自動的に表示されています。自分の学習状況や評価の一部の目安にはなりますが、この数値が具体的に評価に算入されるものではありません。

7 すでに WebOCMnext で学習したことがある方

WebOCMnext を使用した学習を以前おこなった受講生は、すでに教材学習を終えているため、再度ウェブ学習をおこなう必要はありません。その代わりとして、《受講生の評価は期末試験のみで決められます》*2。つまり、定期試験の成績がそのまま最終的な評点となります。受講生の皆さんは、定期試験の日程を間違えないように、かつ定期試験で十分な点を獲得するようにしてください。

8 事務連絡等

8.1 更新情報等

8.1.1 学生基本メールへの連絡

学生基本メール宛に、CALL 科目教員より随時お知らせが届きます。定期試験の日程、学習締切の確認等の重要なお知らせが届くことがありますので、お知らせが届いた際には、かならず読んでおくようにしてください。

8.1.2 CALL 科目教員ページ

CALL 科目を担当している土屋 (call-instructor@fkc.kyushu-u.ac.jp) の個人ページに、CALL 関連の情報を掲載しています。トラブルシューティングや FAQ などの情報も随時掲載していきます。

8.1.3 CALL 担当教員 Twitter

CALL 担当教員の Twitter アカウント (@QU_CALL.inside) では、上の教員ページの更新情報も随時掲載しています。

*2 ただし、「以前再履修した際、学習と定期試験の受験をしたのに、履修登録をしていなかった」等、履修登録に何かしらの問題が生じた受講生は、2 節の「WebOCMnext での学習が 1 回目の受講生」と同じ評価方法となります

8.2 トラブルなどの報告

「アクセスができない」「操作方法が分からない」「問題の解説をもう少し詳しく知りたい」などの個々の質問・意見には、CALL 科目担当教員の土屋 (call-instructor@fkc.kyushu-u.ac.jp) が対応します。ポータルサイトに「システム表示・動作不具合報告フォーム」のリンクがありますので、そちらからトラブルの報告をおこなってください。